

「私の第一声⑳」

【行事の思い出③ スキー合宿】

私が赴任したころ、貝塚の各中学校は、1年生で宿泊訓練、2年生でスキー合宿、3年生で修学旅行というのが定番でした。もちろん、まだスノーボードは一般的ではなかったですし、スキー旅行が今ほど手軽なものでもなかったですが、原田知世の「私をスキーに連れてって」(映画・主題歌)がヒットした後だったので、みんなの憧れのスポーツでした。

今ほど温暖化も進んでいなかったのか、兵庫県の八千高原でも十分雪がありました。バスで二泊三日の旅です。朝から生徒はみんな「ルンルン気分」で朝早くに出発し、現地で昼ご飯を食べて、まず、レンタルするスキー靴と板、ストックを選びます。早速ゲレンデに出ますが、ほとんどの生徒が初めてのスキーなので、まずスキー板を担ぎ、運び、雪の上で着脱する練習からです。板を着いたら、お尻からこける練習、横歩きで20mほどの緩斜面をのぼっては、ハの字のボーゲンで降りてきます。1日目を終える頃には、憧れはどこへやら、足は分厚い靴下を履いていても靴ズレは起こるし太ももは筋肉痛、なぜか両腕も上がらないほどへとへとです。こんな苦行をする羽目となったことを恨みながら、次の日は、朝から初めてのリフトにこわごわ乗ります。2日目を終える頃には、ファミリーゲレンデを何とか降りてこれるようになっており、レクレーションの雪合戦の頃には、楽しくなってきました。3日目の午前中、最も楽しい時間はあっという間に過ぎ、帰りのバスは、みんな疲れ切って爆睡でした。懐かしい思い出です。

授業時間確保のための行事の見直しが進み、スキー合宿を続けているのは、少年自然の家での宿泊学習を行わない五中のみとなりました。

【行事の思い出④ 卒業式】

私が最初に赴任した貝塚二中で、初めて自分の担任するクラスが卒業式を迎えたのは、平成8年3月でした。学校をよくしていくために、当時、貝塚市の中学校では、さまざまな実行委員会を生徒がつくって取り組んでいました。ですから、卒業式にも実行委員会を作ったのです。入試前の本当に忙しい時期でしたが、「最後に一花(ひとはな)咲

かそう会」略称「一咲会(いっしょうかい)」と生徒が名付けた会は、盛り上がりました。

まず、どんな卒業式をしたいかを実行委員会で考えました。様々な意見がでました。結果、例年行われている各クラスで読む答辞(二中では「残す言葉」と呼んでいました)など以外に、「当日の雰囲気盛り上げるために卒業式の会場に自分たちみんなで作ったものを飾りたい」「卒業の歌に加えて、自分たちの好きな歌も合唱したい」という2つの意見が賛同され、準備をすることになりました。

制作については、どんなことが可能なのか、大阪府内にある「卒業制作」で有名な学校に見学に行ったりした後、実行委員は、クラスごとに3年間の仲間と共に作った思い出の場面を、コンパネ2枚にアクリル絵の具で描き、5クラス分を屏風のように舞台上に並べることにしました。絵の制作は、大変です。もちろん生徒それぞれの進路獲得が最も大切ですから、入試の準備をしつつ、例えば、私学専願で進路先が決まった生徒が役割を買って出るなど、お互いの状況に応じて助け合っていました。絵の題材として、修学旅行の場面などをテーマにしていたのですが、あるクラスは、支援学級に在籍していた障がいのある仲間との思い出の場面を選んでいたので印象に残っています。

合唱については、学年全員に歌いたい歌を募集し、人気のある歌から卒業式にふさわしい歌を実行委員会が選びました。ドラマ『白線流し』の主題歌として流行し始めていたスピッツの「空も飛べるはず」が選ばれました。当時は、歌謡曲を合唱するという学校はあまりありませんでしたが、音楽の先生に実行委員が頼み込んで何とか実現しました。

参加者全員のために卒業式と仲間を大切にしようという思いにあふれた、感動的な式になりました。この時、私のクラスだった卒業生の子どもが、今年度二中を卒業すると聞きました。私も年を取るわけです。感慨深いです。

【不定期コラムNo.43】へつづく

第三中学校ホームページ

では、子どもたちの様子やお知らせなど情報発信しています。ぜひご覧ください。これまでの不定期コラムも「校長室より」のコーナーでご覧いただけます。

<http://www.kaizuka.ed.jp/dai3-jh/>

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP

貝塚第三中学校HP